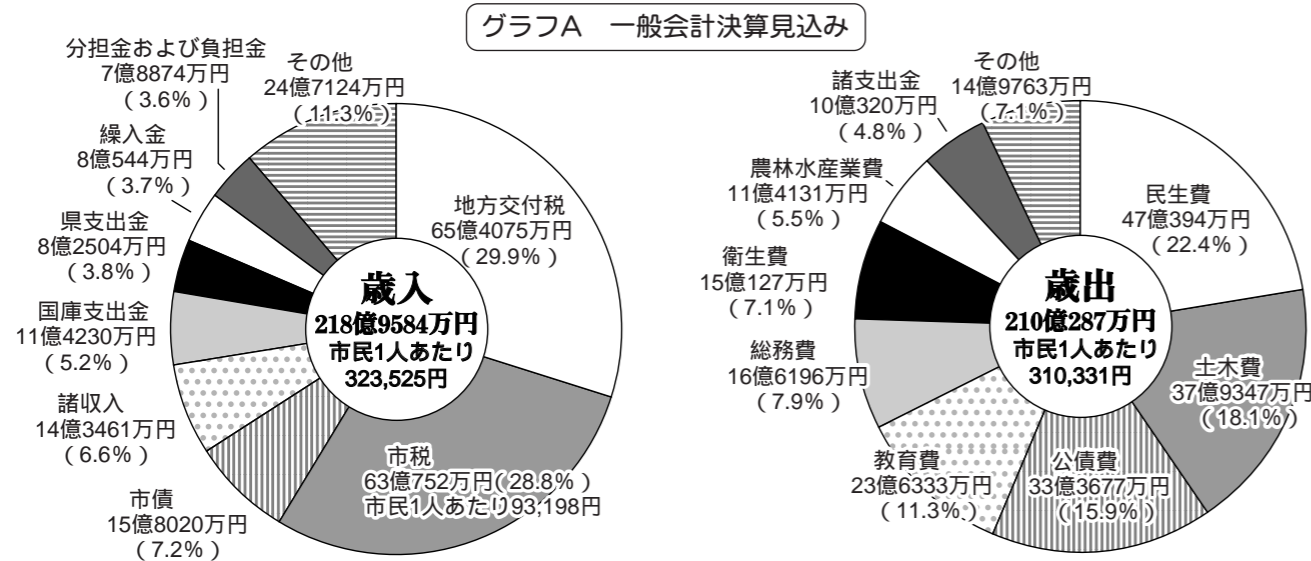


平成14年度 決算見込み

# 市の家計簿はこうなっています

市のお金がどのように使われ、また市の財政がどのように運営されているのかを市民の皆さんから知っていただくため、毎年2回財政事情を公表しています。今号では、平成14年度の決算見込みをお知らせします。



一般会計繰越額

歳入	歳出	差引
218億9584万円	210億287万円	8億9297万円

このうち1億8486万円は平成15年度への繰越事業の財源として使われるため、7億811万円が実質的な繰越額

金額は1万円未満を、比率は小数点第1位未満を四捨五入していますので、合計と合わない場合があります。平成15年3月31日現在の新津市の人口は67,679人、世帯数は21,468世帯です。以下、同じ。

一般会計の繰越額は約七億八千万円。平成十四年度は、市民と行政の「協働」による新たなまちづくりを進めることを基本方針に、自治体を取り巻く少子高齢化、市町村合併に環境保全などといった社会情勢や課題に対応した行政運営と財政改革の推進に努めました。また、限られた財源を市民のために有効に使うことを常に念頭に置き、必要な事業に優先順位を持って取り組みました。

各特別会計と水道事業会計の決算見込み。特別会計と水道事業会計の平成十四年度決算見込みは、左の表のとおりです。特別会計は、特定の歳入を特定の歳出に充てて、一般会計と区別して経理するものです。水道事業は、企業会計として独立して経理を行っています。平成十四年度では、出水不足解消改良工事や、金津配水施設の整備工事、浄水場の施設改良などを実施して、安全でおいしい水を安定して供給することに努めました。

約七億八千万円の繰越額を出す決算見込みとなりました。主な事業としては、新津駅東口駅前広場、流域下水道し尿等投入施設、ボランティア支援センター、阿賀野川水辺プラザの

整備と市営住宅の建て替えや第二小学校トイレの改修などを実施し、市民の生活基盤や福祉・教育関連に積極的な投資を行いました。

## 平成14年度 特別会計の決算見込み

特別会計名	歳入	歳出
老人保健特別会計	72億3375万円	71億8712万円
下水道事業特別会計	54億409万円	52億7032万円
国民健康保険特別会計	47億6741万円	45億6066万円
介護保険特別会計	34億5115万円	34億2656万円

## 平成14年度 水道事業会計の決算見込み

区分	歳入	歳出
収益的収支	15億2147万円	12億4822万円
資本的収支	3億1277万円	9億3278万円

資本的収支の不足額6億2001万円は、損益勘定留保資金、減積積立金および建設改良積立金などを取り崩して補いました。

## 市議会 6月定例会

# 合併問題調査研究 特別委員会を新たに設置

市議会六月定例会が、六月三日から二十四日までの十二日間の会期で開かれました。今回の議会では、一般会計・特別会計予算の補正や条例の改正などが審議されたほか、新たに合併問題調査研究特別委員会の設置が決まりました。



### 特別委員会を設置

市町村合併について、新津市議会議員全員で構成する合併問題調査研究特別委員会が設置され、委員長に古田稷議員、副委員長に大島甚一郎議員がそれぞれ選任されました。

また議会運営委員会委員として、土田勇一議員が新たに選任されました。

### し尿の収集・運搬業務が許可から委託へ

下水道の普及によりし尿のくみ取りが減少していることから、運搬・収集業務が許可から委託へ変わり、新津市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部が改正されました。また法令の改正に伴い、市立幼稚園条例の一部が改正されました。

### 市道の認定、廃止および変更

新たに市道として六路線(総延長9963m)が認定された

ほか、七路線の廃止と十八路線の変更が可決されました。

### 請願・発議を審議

今回の議会で審議された請願・発議は、すべて採択・可決(一部は議長による指名)されました。

#### 請願(採択)

- ・適正規模の少人数学級の実現をはじめとする教職員定数増を求める請願書
- ・義務教育費国庫負担制度の現行維持を求める意見書
- ・教育基本法の見直しについて慎重な対応を求める請願書
- ・いっそうの雇用不安をもたらす労働法制の慎重審議を求める請願

#### 発議(可決)

- ・新津市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について
- ・新津市議会議会運営委員会

員の選任について(指名)

### 公平委員会の委員を選任

今回の議会で、勝見洋人さん(新潟市高美町、53歳)と佐藤誠剛さん(田家3、68歳)を公平委員会委員に選任することが同意されました。

合併問題調査研究特別委員会設置について

## 平成15年度一般会計と特別会計の予算を補正

荻川地区に新設が予定されている私立保育園への補助や、し尿の収集・運搬委託などに伴う一般会計予算の補正が認められたほか、次の特別会計予算の補正が認められました。

#### 一般会計

6983万9000円を追加し、総額216億3983万9000円に。

#### 老人保健特別会計

6975万2000円を追加し、総額74億3675万2000円に。

#### 介護保険特別会計

195万8000円を追加し、総額37億6595万8000円に。